

令和5年度 多摩区町会連合会・コミュニティ活性化促進委員会合同 「令和5年度多摩区町内会長・自治会長及び役員等研修会」報告

令和6年2月24日(土)午後2時～ 多摩区役所11階会議室
参加者 町内会・自治会会長・役員等47名

多摩区町会連合会では、住民組織のけん引役として活動する上で、必要な知識や見識を養うと同時に、町内会・自治会及び地域相互の情報交換や地域コミュニティの活性化を図ることを目的として研修会を開催しています。

今年度は、地域活性化まちづくりコンサルタントの水津陽子氏に「町内会自治会イベントを活用した担い手不足の解消について」と「後任育成(バトンタッチ)の方法について」をテーマにお話しいただきました。自治会を取り巻く環境の変化の説明に続き、若い世代にまちづくりに参加してもらうための具体的なポイントや効果的なイベントの提案などがあり、子どもたちや学生を“お客さま”ではなく、次代の“担い手”にするための様々なヒントを得ることができました。

また、多摩区町内会自治会活動紹介では、登戸多摩川町会の川鍋賢昭会長と土淵自治会の北見博孝会長が登壇されました。



登戸多摩川町会

登戸多摩川町会では、季節のイベントを開催しており、今年度はコロナ禍を経て4年ぶりに様々な催しが行われました。8月の盆踊り大会では、担い手不足のおり、キッチンカーを導入した所、多くの人で賑わいました。11月の芋煮会では、公園の清掃と花壇作りなど、カリタス学園の生徒の皆さんのご協力を得ることが出来ました。幼児を含めた子どもから大人まで大勢の町会員が楽しまれたとのことでした。若い力を巻き込んで未来への活動に繋げていくことの重要性をお話しいただきました。

土淵自治会

一方、土淵自治会では、令和5年3月にオープンした「生田多目的広場」を利用して、7月29日に初の土淵夏祭りを開催されました。焼きそば等3品の出店は近くの製麺店に依頼したことに加え、自治会からも6種類のブースを出したところ、多くの来場者が集まり、大変好評を得られたとのことでした。最後に北見会長は、「自治会の担い手を探すのは容易ではないが、活動のノウハウをマニュアル化することで若手に引き継いでいきたい」と発言されました。



(総括)

町内会・自治会活動において、「担い手不足の解消」「後任育成」は喫緊の課題と捉えている会長、役員の方が多く、研修当日はたくさんの参加者にお集まりいただきました。地域活性化まちづくりコンサルタント水津氏の「新時代を見据えた」町内会自治会活動については質問も多く、関心の高い内容でした。

多摩区町内会自治会活動紹介については、今年度実施した行事やイベントについて、身近な町内会自治会の会長が紹介を行ったことから、今後の活動の参考になったという声が多く聞かれました。

多摩区町会連合会及びコミュニティ活性化促進委員会では、町内会・自治会の運営に必要な知識や見識を養うため、これからも研修や有用な情報の共有を行ってまいります。

発行：令和6年3月 多摩区役所まちづくり推進部地域振興課

住所：川崎市多摩区登戸1775番地1

電話：044-935-3133

FAX：044-935-3391

メール：71tisin@city.kawasaki.jp